

私たちのまちは 灰皿ではありません

喫煙マナー
を考える

路上での喫煙やたばこの吸い殻をポイ捨てする行為があるとを絶ちません。タバコの吸い殻が落ち、人で混雑したところでも、当たり前のようにタバコを吸い続ける人を見かけます。こうした行為は、まちを汚すことになるだけでなく、多くの危険をもちあわせることとなります。

これらを解決する方法、それは喫煙者のマナーの向上しがあります。

禁煙エリア以外が喫煙 エリアではありません

健康増進法の施行によって受動喫煙防止が義務づけられ、分煙が進んでいます。しかし、依然として、不特定多数の人間が集まる街中の喫煙があり、分煙に取り組まれる一方で、マナーの向上が進んでいないのも事実です。

路上での喫煙は、やけどなどの危害を及ぼしたり、副流煙を他人に吸わせる結果となっています。その上、ポイ捨てはまちの美観を大きく損ねるだけでなく、そのことが原因で火災につながるなど、喫煙者のマナーの悪さが人命をおびやかすことにもなりかねません。

喫煙者の権利はありますが、他人に煙を吸わす権利はありません。権利は義務を果たしてこそ主張できるものです。街中でタバコを吸える場所は限られています。

その場所がタバコを吸ってもよい場所かどうか、火をつける前



に考えることが必要です。

ポイ捨ては不法投棄

新しい施設や建物が建ち、道路や公園などが整備され、まちも年々きれいになってきています。しかし、美しく見えるまちも、よく見れば、歩道の隅や中央分離帯の植え込みなどには、まだまだごみが散乱しています。中でもタバコの吸い殻の割合は群を抜いています。

タバコの吸い殻がポイ捨てされる原因は路上喫煙です。路上喫煙の場合、携帯灰皿を携帯するか公共の灰皿を見つけるかしない限り、ポイ捨てする結果になります。

ではなぜ、ポイ捨てが後を絶たないのでしょうか、吸い殻自体が小さなものなので罪悪感も小さいのでしょうか、そのまま立ち去れば罪悪感がすぐ消え去ってしまうのでしょうか、こうした罪の意識の低さがポイ捨てがなくなるならない理由です。

しかしポイ捨ても不法投棄です。しかも火がついていま

誰もが気持ちよく快適なまちに

きれいなまちで生活することはみんなの願いです。そんな思いから毎朝貴生川駅やその周辺を清掃しておられる地元の方がいます。日頃の清掃活動を通しての思いをお話いただきました。

ポイ捨てを許さない 環境が広がれば

以前から、朝に散歩をしていたのですが、道路や駅周辺に多くのごみ、特にタバコの吸い殻が捨てられていることが非常に気になっていました。そこで、同じ散歩をするのなら、との思いで清掃活動を始めました。

■貴生川駅での清掃活動



清掃していて気がつくこと

は、ポイ捨てのタバコの9割以上に消した形跡がなく、火がついたまま捨てられているという事です。周りには草が生えているところなどもあり、タバコの火が他に燃え移る危険が十分あります。非常に怖いことです。

また、悪質なものでは、自動車の灰皿の中身がそのまま捨ててあることや、掃除をしている目の前でポイ捨てをする人などもあります。

これらのすべてがモラルの問題だと思っています。最近ではいろんなところで喫煙マナーの向上についての話を聞きますが、結局は個人一人ひとりが気をつけないとなくなりません。

誰でも自分の住む町はきれいで安全であってほしいはずです。ポイ捨てを許さない環境、そんな輪がこれからもっとと広がっていけばと思います。

喫煙事情、私はこう思う

なかなか良くならない喫煙マナー、皆さんのようにお考えなのでしょうか。貴生川駅周辺で声をお聞きました。

後ろめたいと思いながら

携帯灰皿を忘れてしまったので、後ろめたいと思いながらもついポイ捨てをしてしまった。ポイ捨てしたタバコを誰かが掃除しているということは考えていなかった。

(20代・女性)

掃除をする人がいるという事実

以前は駅前にも灰皿が置いてあった。でも、タバコ以外のごみも捨てる人がいて汚くなってしまふ。結局はすべて個人のマナーの問題であり、本人が気をつけるのが常識だと思う。掃除をする人の姿を想像しなくてはならない。

(50代・男性)

車の窓から火の粉が、危険

町中での歩きタバコやポイ捨ては減ってきているように思う。しかし、車の運転中、窓から車外へタバコの灰を落とす人が多い。火がついているタバコから火の粉が飛んできると、火事にでもならない

ルールを守って喫煙を

コンビニの駐車場に、車の灰皿の中身をすべて捨てていったような形跡を見かける。汚いと思うし、常識がないと思う。その後、店員が掃除しているのを悪いと思わないのだろうか。タバコを吸う人がいるのは仕方ないが、せめてルールを守って吸ってほしい。

(10代・男性)

もっと周りのことを考えて

タバコの煙が嫌いなので、タバコを吸う知り合いには注意をするが、言う事を聞いてくれなければこちらから離れるしか方法がない。喫煙者にはもっと周りのことを考えるといいたい。

(10代・男性)

私たちのまちは私たちのもの

私たちの暮らすまちでは、多くの人ががかり合って生活しています。そこには多くのルールが存在しています。1人の身勝手な行動は、他の人に影響を及ぼすことになります。

地域の清掃活動では、子どもたちがたくさん吸い殻を拾っています。子どもが大人の捨てたごみを拾っているという現実があります。

自分の家で灰皿がないからといって床の上に捨てる人はいないはずです。道路や公園も同じように私たちのまちです。私たちのものです。